

もっと見てほしいから  
新しい取り組みを始めています

# 知っていますか？ 広報モニター

毎月届く広報紙。

広報紙とは、安平町で暮らす皆さんに情報を提供する情報誌です。

広報あびらが届き、一番はじめに見るページは…。できごと、写真、事業や制度のお知らせなど、開くページは人それぞれで、中には全く手に取ることもないという人もいます。

皆さんが読みたいくなる広報とはどのようなものなのでしょうか。知りたい情報とは。

町では、町民の皆さんと協働で行うまちづくりを目指し、平成19年度に安平町広報モニターを設置し、町民の皆さんを代表して広報紙づくりに意見や提言を求める取り組みをしています。

しかし、その活動内容はあまり知られていなく、その言葉すら知られていないのが現状です。

今回は「広報モニター」について紹介します。

## 親しまれる広報を目指しています

「広報あびら」・「広報笑顔（スマイル）」は、情報誌のひとつです。暮らしに必要な情報だけでなく、新しいことを取り入れながら、「読みたい広報」となるよう取り組んでいます。

### ◆大事なこと

お知らせしたいことを分かりやすく・正しく伝えることを一番に作成しています。

### ◆情報の収集

広報紙を「読み物・見る物」として、皆さんに親しまれるものとなるよう、身近な情報を収集しています。

### ◆新たな取り組み

新人職員が安平町を知る「体験記」を連載、また古い広報紙で昔の安平を伝える「あびら回顧録」などのコーナーを始めています。

### ◆紙面の工夫

内容の大部分は行政情報が多く、お役所言葉が難しいと敬遠されがちですが、写真やイラスト、グラフなどを用いて、レイアウトを決め、文字の大きさや配列、文章表現など工夫をしています。

しかしこれらの取組みが、皆さんにちゃんと伝わっているのか、分かりやすい内容だったのかは、読み手の皆さんにしか分からないことです。

町民の皆さんが、「広報を読んでも分かりにくい」といった声を届けてくれるのは広報モニターの役割です。